



H30.7.31

田村たくみ県議会だより Challenge Spirit

～ チャレンジ スピリッツ ～

vol.68

Challenge Spiritとは・・・

直訳で「挑戦する精神」。一度志を抱いたならば、一度の挫折を苦とせず糧とし、常に挑戦する気持ちで前向きに頑張っていく「田村たくみ」の精神を表したものの。

埼玉県議会6月定例会特集！ 議会の行政チェック機能を発揮！決議で健全執行を求める！

謹啓 猛暑の候、皆様方に於かれましては健やかに過ごしのことと、お喜び申し上げます。平素は、私の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月18日から7月6日までの19日間で「埼玉県議会6月定例会」が開催されました。最終日の本会議では、冒頭に地方自治法第98条第2項に基づく「監査請求を求める動議」を自民党議員団にて提出し、私が提案説明を行わせて頂きました。内容は、知事特別秘書の給与支給が、法律の定めるところの給与条例主義に抵触している可能性があることから、この支給に対する監査を求めるものであります。この動議に対しては、残念ながら自民党議員団のみの賛成で可決致しました。問題点を明らかにするための監査請求に対し、反対する会派の行政監視に対する考え方に疑問を感じるところであります。

続いて、先の2月定例会県議会にて予算委員会において予算の執行停止の附帯決議及び特別委員会において決議を行っていましたが、特別老人ホームの整備に関する問題について、今議会中に開催されました特別委員会での議論を通して浮彫となりました。①介護人材の確保策の充実、②ユニット型と従来型の整備における問題の解消、③地域偏在の解消の3つの条件を付け、予算の執行停止を解除する決議を提出致しました。県民会議を除く会派の賛同を得て可決・成立致しました。

ここまで、通常の議会と変則的な議会運営となりましたが、その後委員長報告を行い、知事より提出されました「埼玉県税条例等の一部を改正する条例」を含む議案6件につきまして、原案通り可決致しました。また、知事より追加提出のありました「彩の国功労賞の贈呈について」パラリンピックスキーメダリストの

村岡さんと、マラソンで日本記録を出した設楽さんの2名に対する同意議案が提出され、全会一致で同意致しました。

議員提出議案としては、「放課後児童クラブの職員配置基準等の堅持及び放課後児童支援員等の処遇改善を求める意見書」「警察官の増員を求める意見書」など、意見書6件について可決致しました。また、「保育士確保と離職防止のための処遇改善を求める決議」「県内全域における乳幼児医療費の窓口無料化を求める決議」についても、賛成多数で可決致しました。

更に、全国知事会において今年4月に会長選挙が行われた際、多くの知事の支持を得て上田清司 埼玉県知事が会長に選出されたことに対し、「全国知事会の認識を問う決議」を提案、賛成多数で可決致しました。これは、上田清司 埼玉県知事が知事の任期を3期12年までとする「多選自粛条例」を自らの筋金入りの条例として提案し、議会の議決を経て制定されていること。その後、条例を改廃することなく4期目の選挙に出馬し、条例を守らない状況が続いていること。このことは、議会制民主主義の完全否定に繋がること。その様な中、全国知事会が上田清司氏を会長に選任したことは、条例違反の状態を全国知事会が追認しているに等しく、全国知事会の認識を問うものであります。これに対し、知事はマスコミの取材に「突飛な話で、笑っているというのが正直な感想」と話したそうです。やはり、この人には法規範とか、政治倫理とか、信義則とかの話は全く通じないと感じました。自身の勝手な解釈で法規範を曲げ、更に議会の議決を「笑う」で済まされては、行政にチェック機能が働かず、議会が要らなくなってしまう。これは、正に議会制民主主義への挑戦であり、埼玉県にこのような暴君が存在することに恥ずかしさを覚えるところであります。名誉欲だけで県政だけではなく、全国知事会までも翻弄する方には、徹底的に議会として対抗して行きたいです。

今後も、県政推進・地域発展のために、様々な施策に挑戦して参ります。皆様の更なるご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。



本会議上で動議の提案説明を行う田村県議

埼玉県議会議員 田村たくみ

保育士確保と離職防止のための処遇改善を求める決議

この決議は、県内の自治体において保育士不足が深刻化し、その確保が喫緊の課題となっています。また、国の子ども・子育て支援新制度における公定価格は、国家公務員の地域手当に準じた地域区分が設定されており、特に近隣自治体との乖離が著しい自治体においては、保育士の確保に苦慮し、独自の賃金補助制度を創設するなど、保育士の確保と離職の防止に努めているところであります。よって、安心・安全な保育を提供し、安定的な保育士の確保を図るため、①国の公定価格による地域区分の等級について、地域の実情を踏まえ、近隣自治体との格差を是正するよう、これまで以上に強く国に働きかけること。②地域区分の格差が解消されるまでの当面の間、市町村に対し、賃金補助などの積極的な財政支援を図ること。この2点の事項について県に特段の配慮を求めるものであります。



県内全域における乳幼児医療費の窓口無料化を求める決議



乳幼児医療費の助成について、県内全ての市町村が現物給付方式で窓口無料化を実施しています。しかしながら、県としては現物給付方式を認めないことから、居住する市町村以外で受診した場合に窓口無料化とならず、県民が立替え払いを余儀なくされている現状があります。一方で、全国的に多くの自治体が乳幼児医療費助成制度を償還払い方式から現物給付方式に改めている中で、県は、現物給付方式を認めない姿勢を崩さないとしています。まさに少子化対策に取り組む市町村の努力を県が阻害している状況なのです。

よって、本県議会は、乳幼児医療費助成制度の償還払い方式を現物給付方式に改め、県内全域での窓口無料化を実施するよう強く求める決議を致しました。

写真で見る活動報告！



団特種詐欺撲滅PTにてコールセンターを視察



党青年局中央研修会パネルディスカッション



今年もトライアスロン完走！

田村たくみプロフィール

埼玉県議会議員（3期）

- 南6区（さいたま市見沼区）選出
- 議会運営委員会 委員
- 福祉保健医療委員会 委員
- 危機管理・大規模災害対策特別委員会 委員長

昭和46年10月15日生まれ（46歳）

- さいたま市立海老沼小学校 卒業
- さいたま市立片柳中学校 卒業
- 埼玉県立川口青陵高等学校 卒業
- 放送大学教養学部 卒業
- 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 修了（公共政策修士）

主な経歴及び役職

- 埼玉県議会自民党議員団 政務調査会長
- 自民党青年局中央常任委員会 議長
- 自民党埼玉県支部連合会 青年局長
- 自民党さいたま市見沼区支部 支部長
- 早稲田大学システム競争力研究所 招聘研究員
- さいたま市大宮野球連盟 副会長
- リトルリーグ大宮東リーグ 会長
- 社会福祉法人 希求会 理事 等



県政のこと、身近なこと、何でもお気軽にご相談ください！お問い合わせは、「田村たくみ」事務所まで…！

埼玉県議会議員 田村たくみ 事務所

〒337-0032 さいたま市見沼区東新井587-2 e-mail: info@takumi-tamura.jp

電話：048-681-0005 FAX:048-681-0006

ホームページ <http://www.takumi-tamura.jp>

